

◆マンガ

宮崎県郷土先覚者シリーズ④  
マンガ／太神美香

日本を救った外交官

小村寿太郎



君の話は  
きいてみるよ

君を  
清国公使館  
参事官に  
任命したい

外務  
奥  
陸

長年苦しんだ  
借金については

マンガ／太神美香

そして一八九五  
(明治二十八年)  
遼東半島を  
返還!

外務省 政務局長  
小村寿太郎 (40歳)

高日

は……  
はうまつち!

寿太郎は  
英の学習書を  
読み、  
英語が伝わる  
くり返し練習  
かけたりして  
独学で英語を  
身につけていった

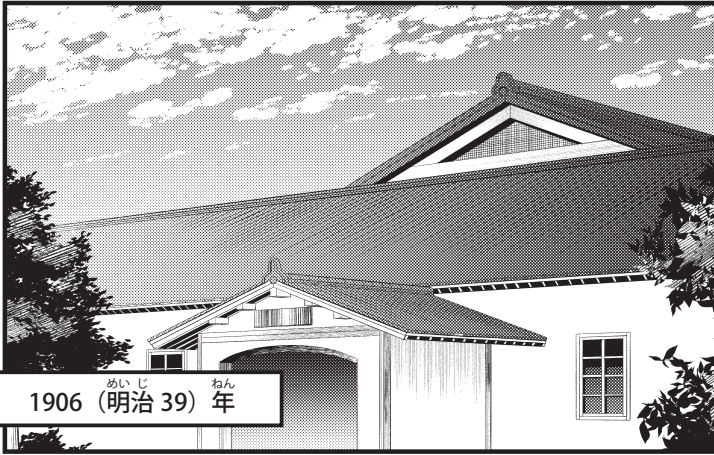
徹底的に調べあげた

外務大臣

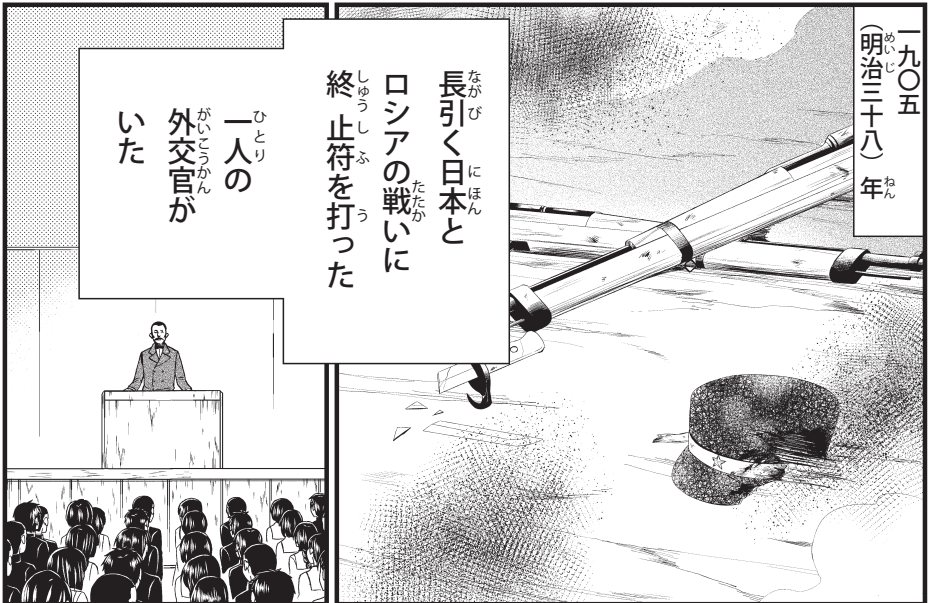


けんりつみやぎちゅうがっこう  
県立宮崎中学校

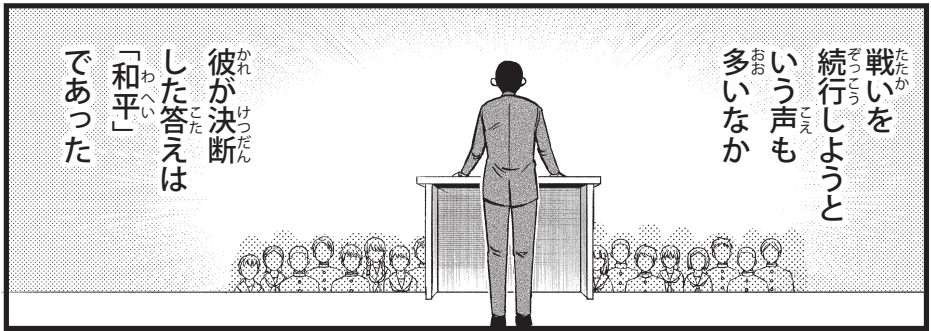
(げん けんりつおおみやこう)  
現・県立大宮高校



めいじ ねん  
1906 (明治 39) 年







戦いを  
続行しよう  
という声も  
多いなか

彼が決断  
した答えは  
「和平」  
であった



諸君は  
正直であれ

正直という  
ことは  
何より大切  
である！

ポーツマス講和条約を  
締結し  
後に不平等条約の撤廃を  
成し遂げる

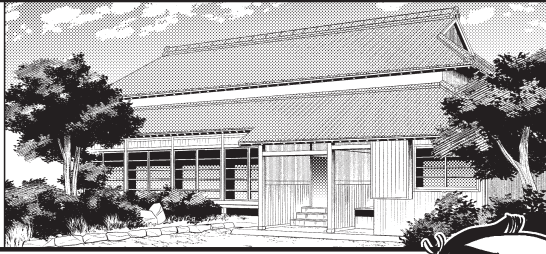
「誠」の一字を  
貫いた外交官

小村寿太郎である





ほんまちべつとう  
本町別当  
やしき  
屋敷



一八六一  
（ぶんきゆうがん）  
文久元年  
ねん  
おびはん  
飢肥藩



ようこそ  
おいでください  
ました！  
どうぞこちらへ

こむら かんべい  
小村 寛平



こむら じゅたろう さい  
小村 寿太郎 6歳



かんべい  
寛平さん  
まちべつとう  
町別当の仕事は  
どうだい？

おかげさまで  
いそが  
忙しくして  
おりますよ



じゅたろう  
寿太郎  
や



はい!

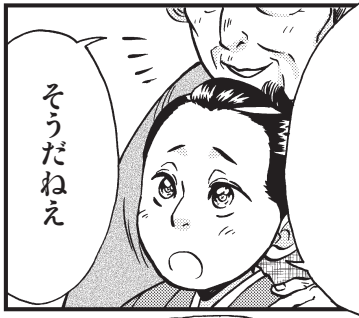


どれ

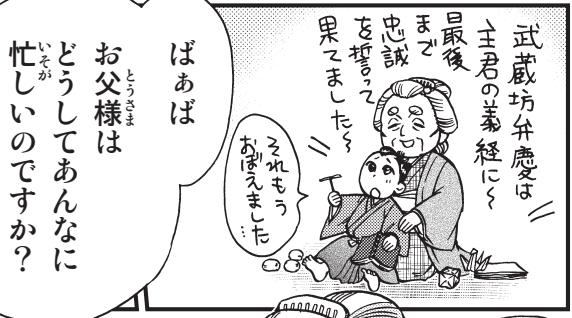
ばばがきょうも  
お話をし  
て  
あげようかね

お父上は今日も  
お忙しいよう  
だねえ

祖母 熊



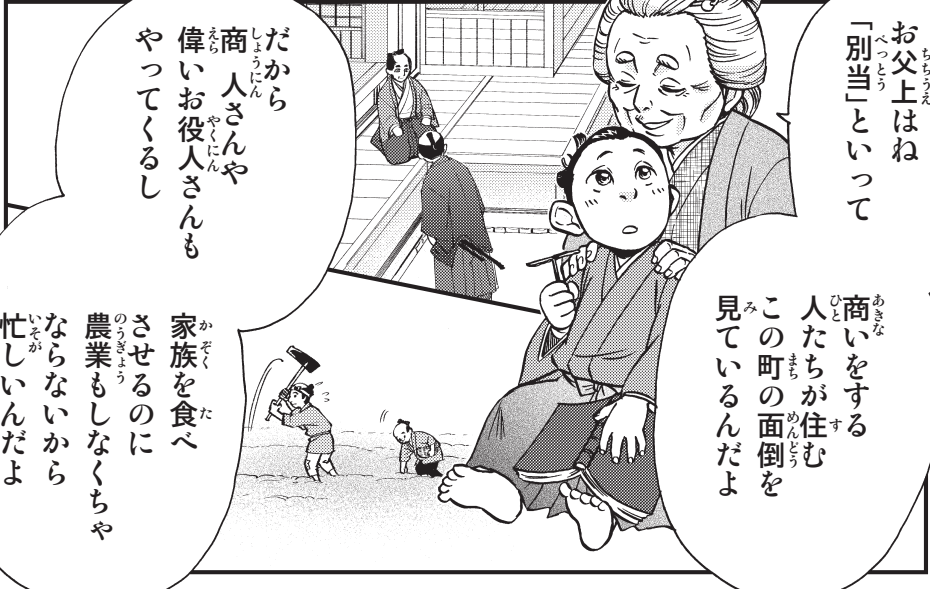
そうだねえ



ばあば

お父様は  
どうしてあんなに  
忙しいのですか?

これもう  
お聞きまし  
た



お父上はね  
「別当」といつて

商いをする  
人たちが住む  
この町の面倒を  
見ているんだよ

だから  
商人さんや  
偉いお役人さんも  
やってくるし

家族を食べ  
させるのに  
農業もしなくちや  
ならないから  
忙しいんだよ

そうなの  
ですね…

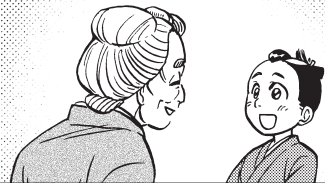
だから寿太郎も  
いっばい勉強して  
立派な人物に  
なってる

お父上を  
助けてあげ  
ないとね



はい!

さあ  
明日も  
早いから  
寝ましょう

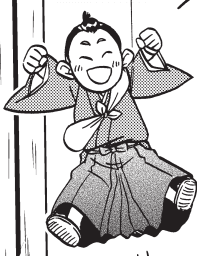


翌日  
午前五時頃

とんとんとんと



よし!  
今日も  
一番乗りだ!!



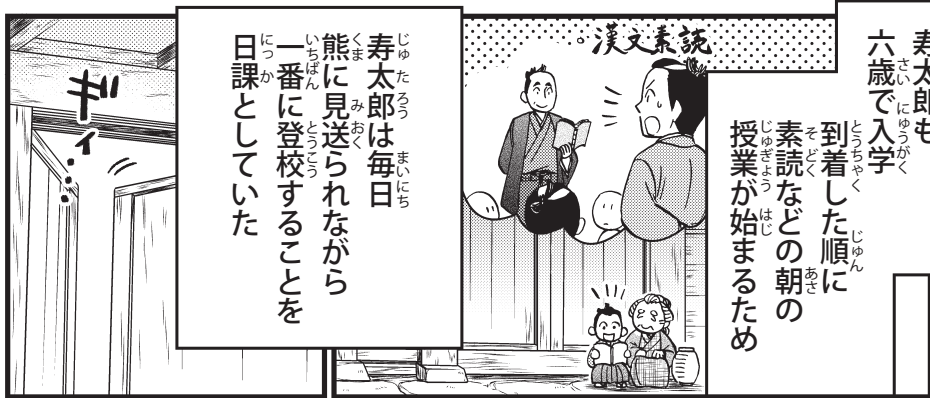




飢肥藩は  
小さな藩を豊かに  
するために  
優秀な人材が  
必要だと考え

やすいそつけん  
安井息軒

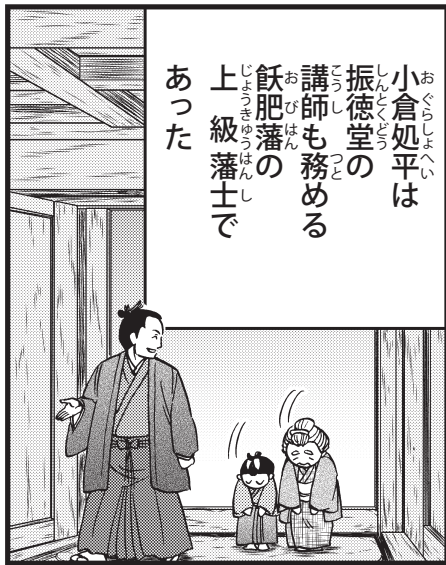
やすいそつゆう  
安井滄洲・息軒親子を  
招いて開いた藩校  
「振徳堂」で  
人材教育に力を  
入れていた



寿太郎も  
六歳で入学  
到着した順に  
素読などの朝の  
授業が始まるため

寿太郎は毎日  
熊に見送られながら  
一番に登校することを  
日課としていた

キイ



小倉処平は  
振徳堂の  
講師も務める  
飢肥藩の  
上級藩士であつた



今日も  
一番乗りだね

おぐら しょへい  
小倉 処平

礼儀正しく勉強熱心な  
寿太郎は一目置かれ

ダーン

十二歳の頃には  
他の子より早く  
藩校の寮に住み込みで  
学ぶことになった



そして――

長崎へ  
遊学ですか!?

ああ

先日長崎で  
佐賀藩士たちと  
意見を交わした



江戸で  
息軒先生にも  
教えを乞うた  
が：やはり

これからは  
西洋の学問を  
学ぶことが  
大切だ!

ぜひ君も





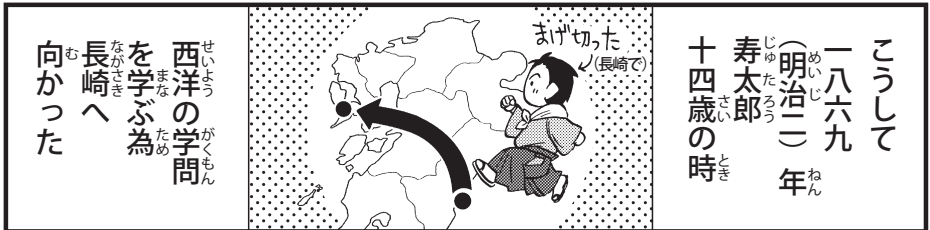




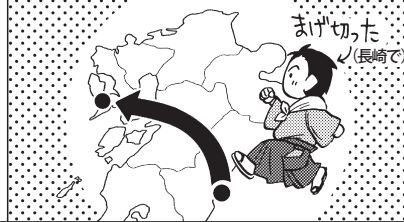
やるんだ  
寿太郎くん  
君ならきつと  
藩を…いや

日本を豊かに  
することができるぞ!

…はい!



こうして  
一八六九  
(明治二年)  
寿太郎  
十四歳の時



西洋の学問  
を学ぶため  
長崎へ  
向かった

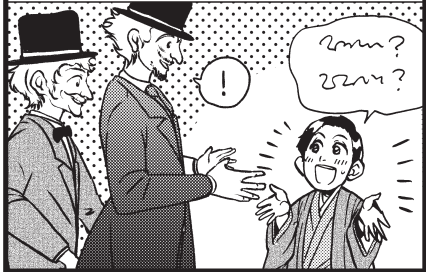
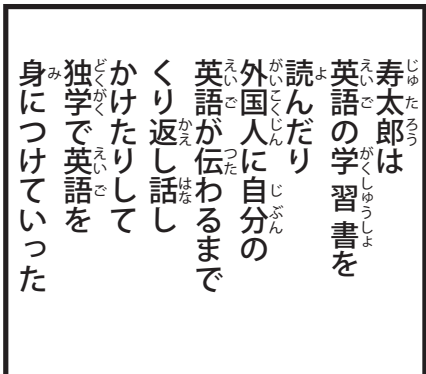
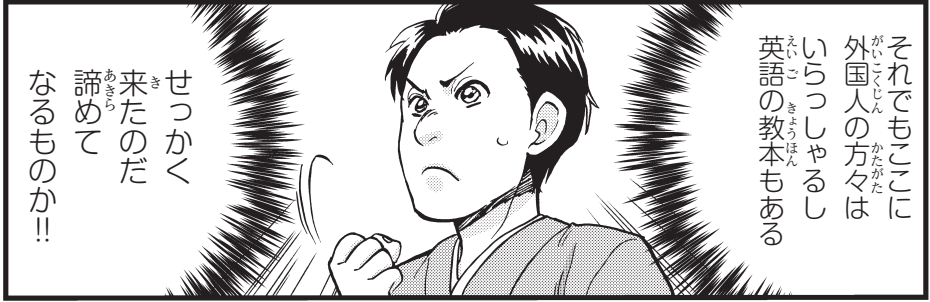


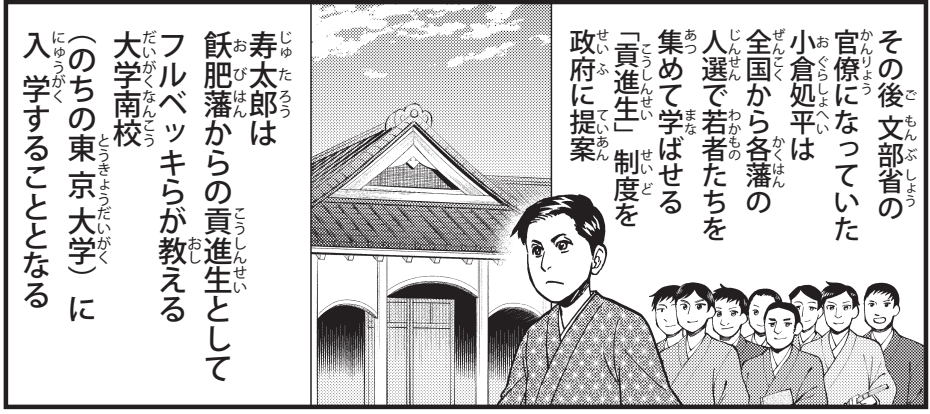
しかし…

フルベツキ先生が  
いない!?

ええ…  
先日  
東京の学校  
への赴任が  
決まり  
向かった  
ばかりで…

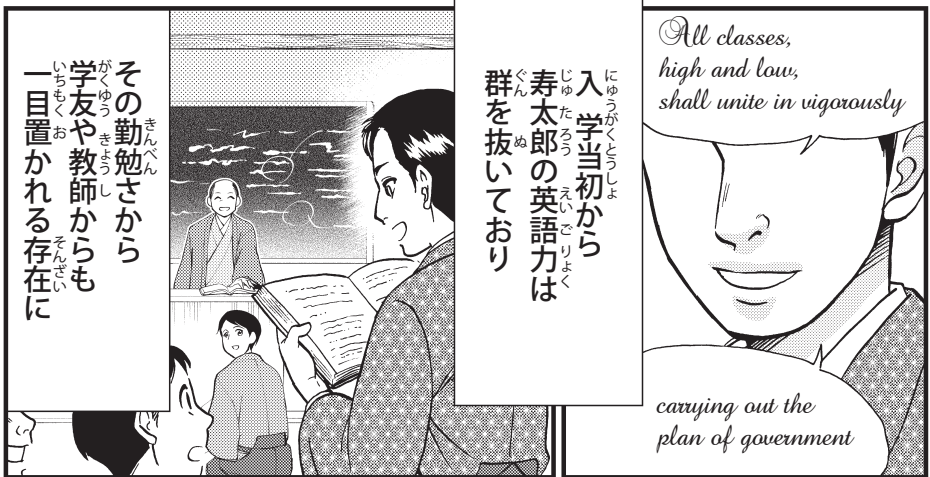






その後文部省の  
官僚になつていた  
小倉処平は  
全国から各藩の  
人選で若者たちを  
集めて学ばせる  
「貢進生」制度を  
政府に提案

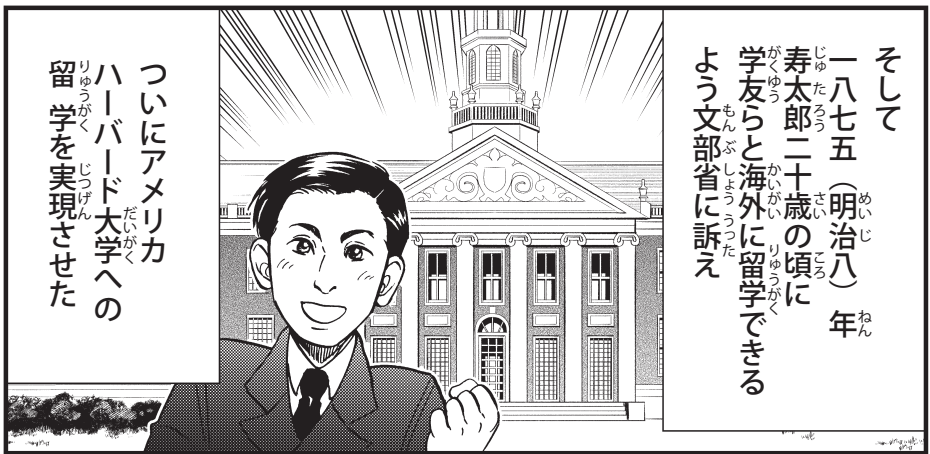
寿太郎は  
飢肥藩からの貢進生として  
フルベッキらが教える  
大学南校  
(のちの東京大学)に  
入学することとなる



All classes,  
high and low,  
shall unite in vigorously  
carrying out the  
plan of government

入学当初から  
寿太郎の英語力は  
群を抜いており

その勤勉さから  
学友や教師からも  
一目置かれる存在に



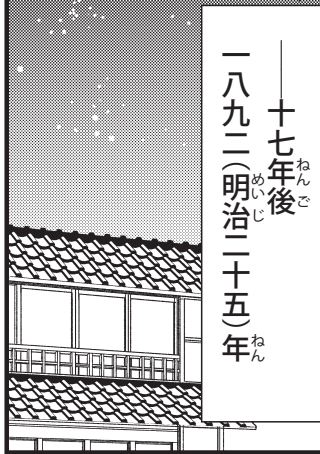
そして  
一八七五(明治八)年  
寿太郎二十歳の頃に  
学友らと海外に留学できる  
よう文部省に訴え

ついにアメリカ  
ハーバード大学への  
留学を実現させた





しゅうぎいん ぎいん  
衆議院議員  
かわごえ すすむ※  
川越 進



十七年後  
一八九二(明治二十五年)年



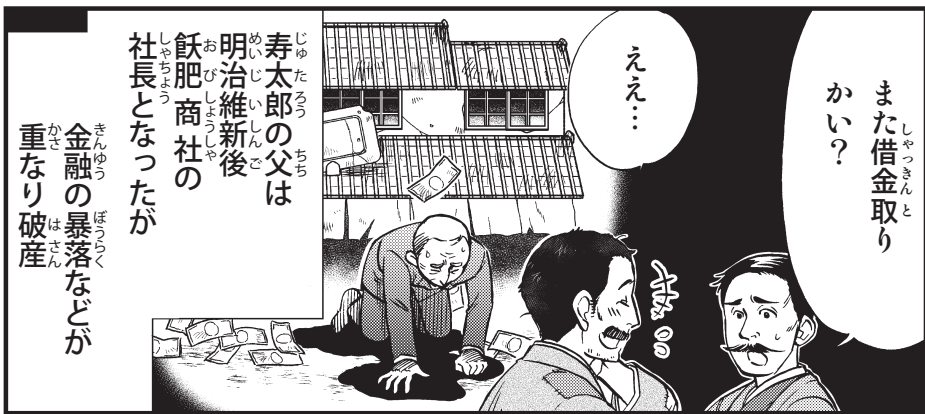
川越さん…  
どうもこんばんは

今晚もお酒に  
つきあつて  
もらえませんか

寿太郎くん…

がいむしょうほんやくきよく かんりりょう  
外務省翻訳局の官僚となった  
こむらじゅたろう  
小村寿太郎 (37歳)

※川越進…現在の宮崎市清武町出身で、宮崎分県を成し遂げ、初代宮崎県会議長を務め、後に衆議院議員に選出された



また借金取り  
かい？

ええ…

寿太郎の父は  
明治維新後  
飢肥商社の  
社長となったが

金融の暴落などが  
重なり破産

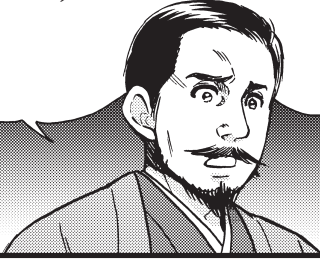
長男の寿太郎は  
他の兄弟たちに  
迷惑をかけまいと  
借金を一身に  
背負ったのだ



君ほどの人物を  
このままに  
しておくのは  
もつたいない

先日  
青木外務大臣が  
借金を肩代わり  
しようと

申し出てくれたが  
本当に断るのかい？



青木大臣が  
五箇条の御誓文の  
英訳をほめて  
くださったのは  
嬉しいですが：

助けてもらえば  
なにがあっても  
大臣のいうことを  
きかなければ  
ならなくなる

私はいつでも  
公平で誠実で  
ありたいのです

いずれ実力をつけて  
必ず外交の場で  
活躍したいと思っています

そのとき  
恩をうけた方に  
遠慮して  
信念を貫けなく  
なつてはいけませんから



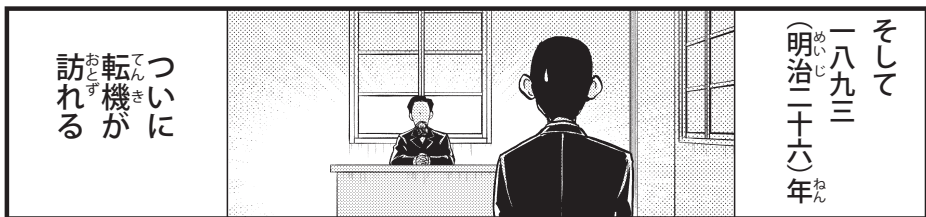


寿太郎は  
 十年もの間  
 借金に苦しみ  
 ながらも

…そうか…

意欲を失うことなく  
 外務省で働きながら  
 世界の外交事情を  
 独自に研究していた

かたはれ!



ついに  
 転機が  
 訪れる

そして  
 一八九三  
 (明治二十六年)



君の話は  
 きいているよ

君を  
 清国公使館の  
 参事官に  
 任命したい

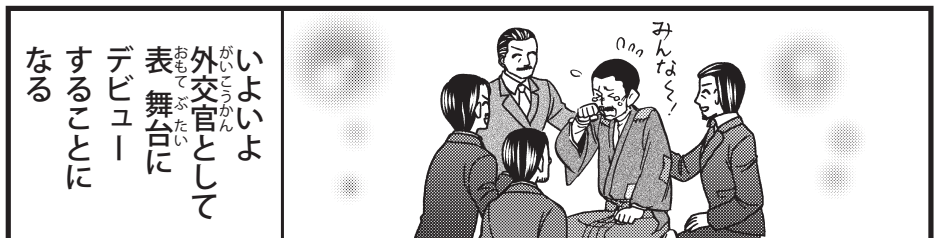
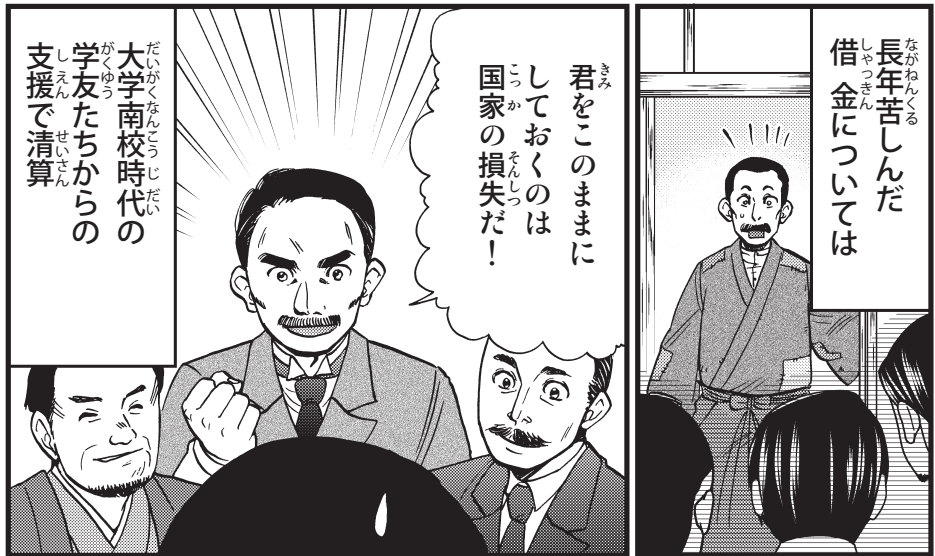
はい!  
 喜んで!

外務大臣  
 陸奥 宗光

※公使館…外交官が海外で執務を行うところ

※参事官…公使館において公使に次ぐ役職の外交官





そして一八九五  
(明治二十八)年

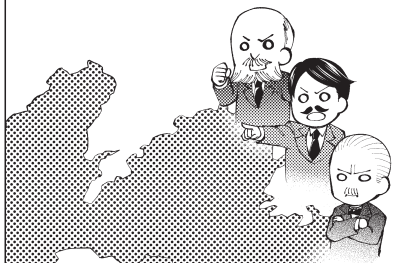
リヤオトンほんとう  
遼東半島を  
返還!?

むつがいしやう  
陸奥外相を支えた  
じゆたろう  
寿太郎らの  
かつやく  
活躍もあり

しんてく  
清国との戦争の勝利  
りやうど  
により領土などを得た  
にほん  
日本だったか

がいむしようせいむきよくちやう  
外務省 政務局長となった  
こむらじゆたろう  
小村寿太郎 (40歳)

にほん  
日本の国力が  
たか  
高まることを  
けいかい  
警戒したロシア・  
ドイツ・フランス  
からの要求により



かくとく  
獲得したばかりの  
りやオトンほんとう  
遼東半島を  
てばな  
手放すことに  
なつたのだ

にほん  
やはり日本を  
しじ  
支持してくれる  
くに  
国がなければ

こくさいてき  
国際的な  
ちい  
地位の確立は  
むずか  
難しい

とうじせかい  
当時世界は  
ちからつよ  
力の強い国が  
しよくみんちかくとく  
植民地獲得と  
りやうどかた  
領土拡大を  
あ  
競い合う  
きせき  
帝国主義の  
じだい  
時代

きんだいか  
近代化が  
はじま  
始まって間もない  
にほん  
日本はいかに  
たいこう  
対抗していくか  
くわう  
苦悩していた



はっん!!

— ですから  
日本はイギリスと  
同盟を結ぶべき  
なのです!

がいむだいじん  
外務大臣となった  
こむらじゅたろう  
小村寿太郎 (47歳)

しかしイギリスは  
これまでどの国とも  
同盟を結んだ  
ことなどないですよ

ロシアと争わない  
ためにもロシアと  
同盟を結ぶべき  
では?

ロシアは義和団事件に  
乗じて清国の領土を  
侵しているのでは  
ないですか

下手にロシアに  
妥協しては  
国益を損じ  
ます

一方イギリスと  
同盟を結べば  
政治的にも  
軍事的にも  
ロシアに対抗  
できます!

だが…

※義和団事件・清国で起こった、帝国主義等に反対する民衆運動。鎮圧のためにロシアら八カ国が共同出兵した。





問題はイギリスが日本と同盟を結ぶ気になるかどうかではないか

イギリスにとっての利益がなければ成り立たないぞ

…やってみせます



イギリスのことは徹底的に調べあげておきます

必ずや同盟を実現させてみせます！



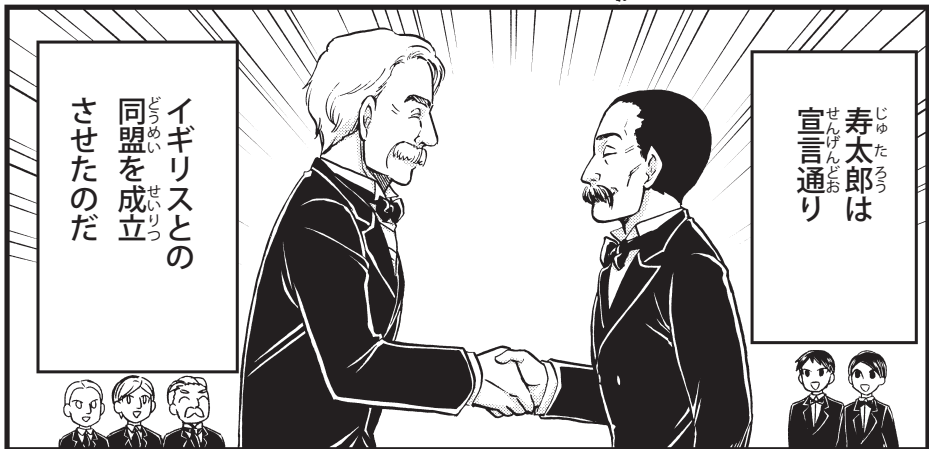
実現するのは難しいと疑問視されていたイギリスとの同盟

しかし寿太郎は自分の信じる道を貫き

イギリスの抱える問題や本音を徹底的に調べあげた



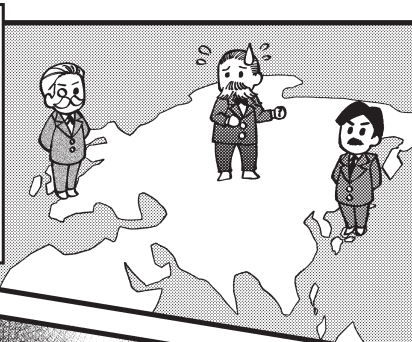
そして  
ついに



イギリスとの  
同盟を成立  
させたのだ

寿太郎は  
宣言通り

寿太郎の  
思惑どおり  
ロシアも  
態度を  
やわらげた



「名誉の孤立」を  
買っていた  
イギリスが日本と  
同盟を結んだことは  
世界を驚かせ

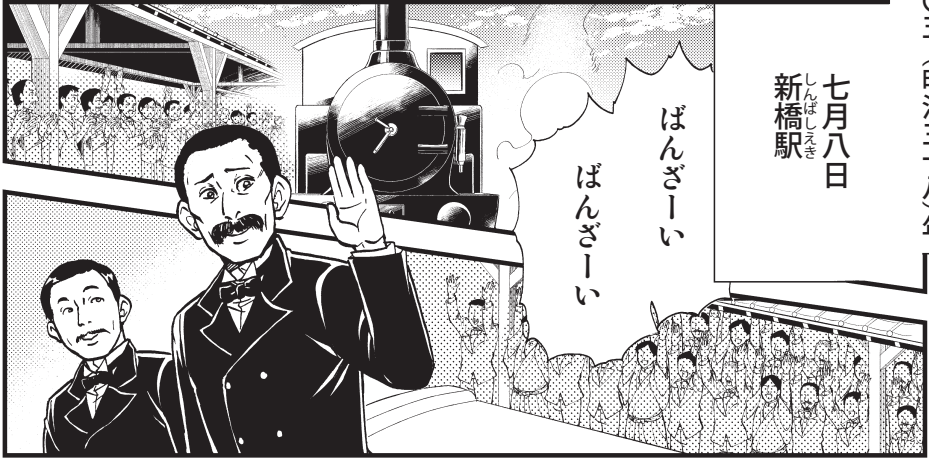


日英同盟が  
なければこれに  
勝利することも  
できなかった  
だろう

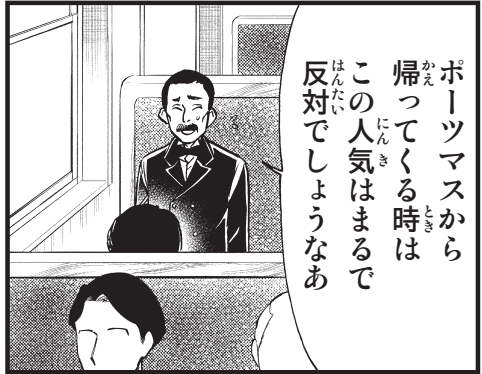
それでも  
衝突は  
避けられず  
後に日露戦争が  
起こったが

七月八日  
新橋駅  
しんばしえき

ばんざーい  
ばんざーい



ポーツマスから  
帰ってくる時は  
この人気はまるで  
反対でしようなあ



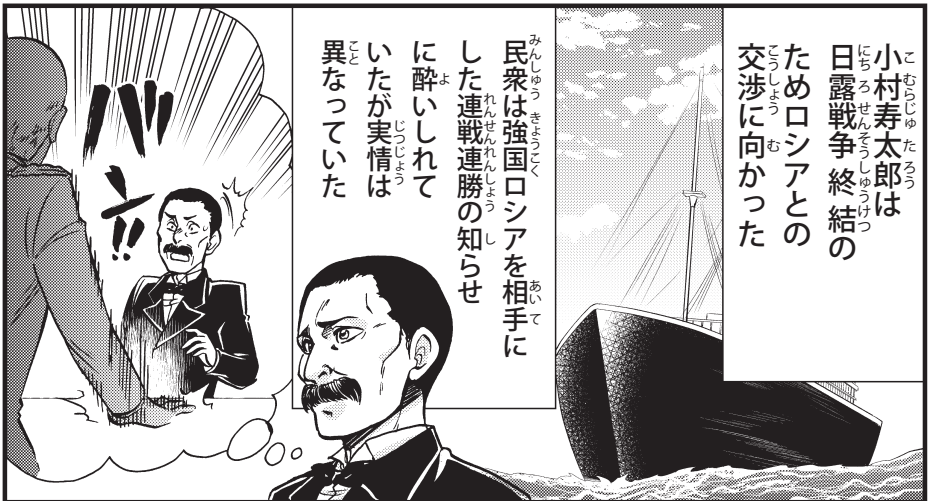
やまざ えんじろう  
山座 円次郎

あの声か  
馬鹿野郎くらいで  
すめば結構でしょう



小村寿太郎は  
日露戦争終結の  
ためロシアとの  
交渉に向かった

民衆は強国ロシアを相手に  
した連戦連勝の知らせ  
に酔いしれて  
いたが実情は  
異なっていた





貧乏国が

これ以上戦争を  
続けてなんになる！

わたし戦争を  
やめるために  
上京したのだ

陸軍大將  
児玉源太郎

もとより  
日露開戦は  
早期決戦  
早期講和の  
つもりでしたが  
…そんなに  
厳しい状況  
なのです



ええ

…もうこれ以上  
犠牲は  
たくさんだ

ただ  
必要なのは  
平和のみ！

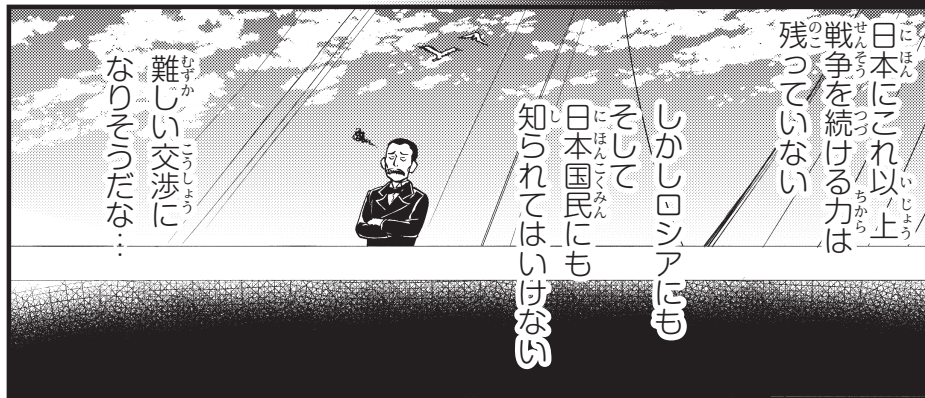
小村さん  
あなたの力が  
必要です！



日本にこれ以上  
戦争を続ける力は  
残っていない

しかしロシアにも  
そして  
日本国民にも  
知られてはいけない

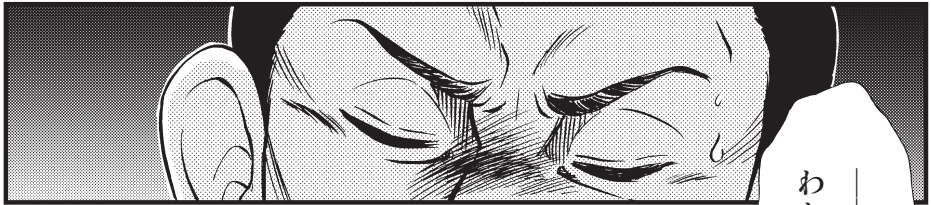
難しい交渉に  
なりそうだな…





にほんこくみん  
日本国民は皆  
ロシアから賠償金を  
得ることを期待  
しているだろう  
…しかし

にほん  
日本と違って  
まだ戦おうと思えば  
戦えるロシアから  
取れる見込みは…



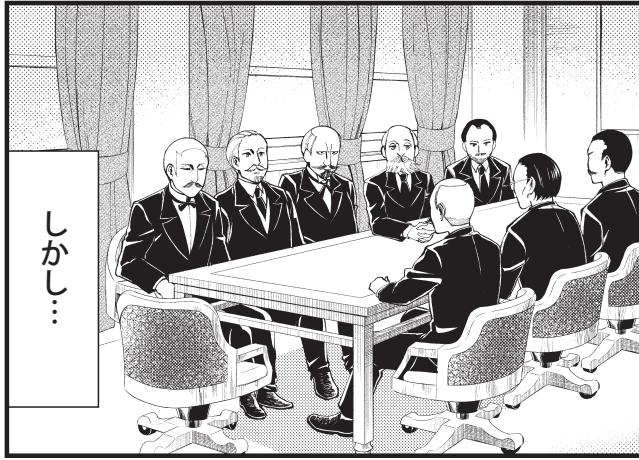
…  
わかりました



にほん  
日本の満州南部等の  
権益を認めて  
くださるなら  
賠償金は不要です

へいわ  
平和のため  
日本とロシアの  
真の利益のため

これからは  
仲良くやって  
いこうでは  
ありませんか



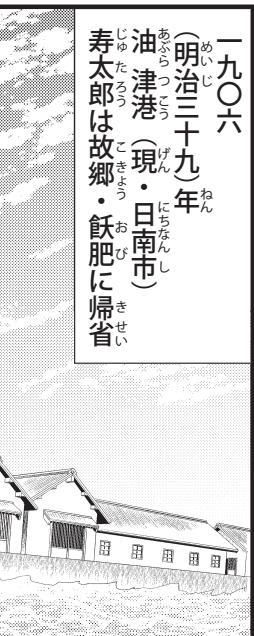
しかし…

こうして寿太郎は  
難しい交渉を  
まとめあげ  
ポーツマスで  
日露講和条約に調印



外務省に  
暴徒が押し  
寄せる事件に  
まで発展した

勝利したのに  
賠償金が  
取れなかったため  
国民から  
「弱腰外交」と罵られ



一九〇六  
(明治三十九)年  
油津港(現・日南市)  
寿太郎は故郷・飫肥に帰省



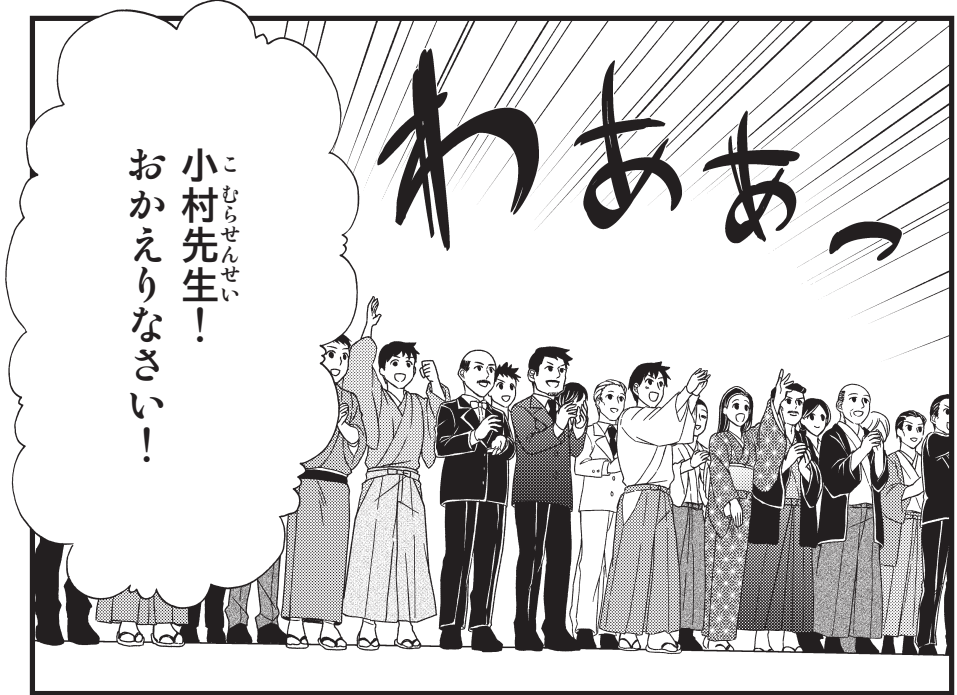
それでも  
寿太郎は

命をかけて  
「平和の道」を探り  
実現させたのだった





...これは...  
これは...



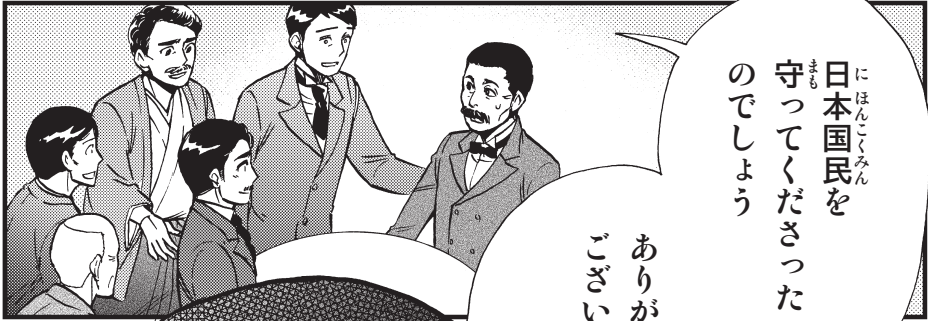
こむらせんせい  
小村先生!  
おかえりなさい!

わああ



わたし  
私たちはそうは  
おも  
思っています

とうきょう  
東京では  
せんせい  
先生が締結して  
きた条約が  
ふまん  
不満といつて民衆が  
おおさわ  
大騒ぎをした  
ようですが...



にほんこくみん  
日本国民を  
まも  
守ってくださった  
のでしよう

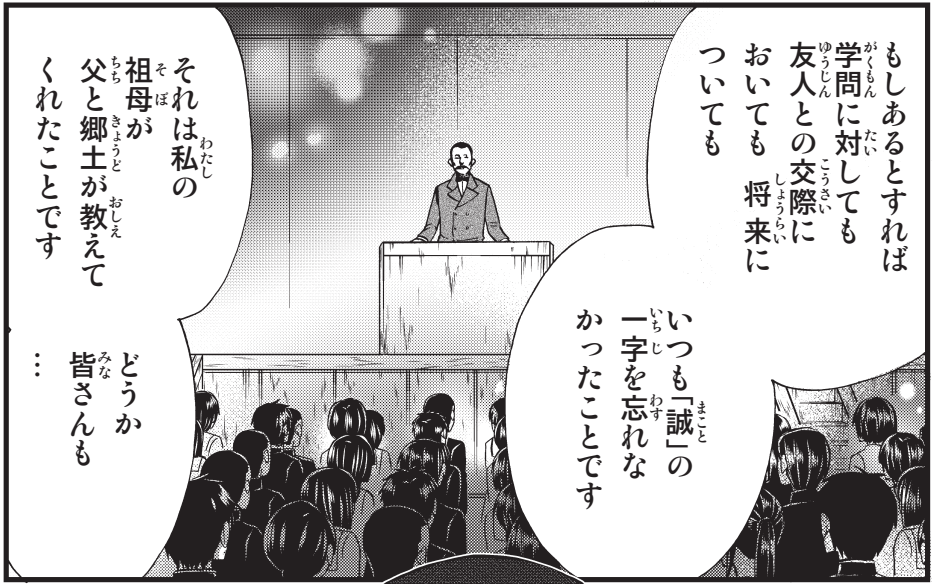
ありがとう  
ございます……!



にほん  
日本の近代外交の始まり  
きんたいがいこう  
とともに活躍した  
がいてうかん  
稀代の外交官  
こむらじゆ  
小村寿太郎

この後ごも  
ばくまついらい  
幕末以来の念願ねんがんだった  
ふびやうどうじやうやく  
不平等条約の  
てつぱい  
撤廃を成し遂げ  
にほん  
日本を真の独立国家へと導みちびいた

わたしひと  
私は人より  
とくす  
特に優れた  
ところがある  
わけではない



もしあるとすれば  
学問に対しても  
友人との交際にも  
おいても 将来に  
ついて

いつも「誠」の  
一字を忘れな  
かったことです

それは私の  
祖母が  
父と郷土が教えて  
くれたことです

どうか  
皆さんも  
:



「誠」の一字を  
忘れないで  
ほしい

日本を豊かに  
するために  
「誠」の一字を買いた  
小村寿太郎の想いは

今も  
受けつがれている



## 日本を救った外交官・小村寿太郎をめぐって

### 飢肥藩と小村家

飢肥藩は小藩ではありませんでしたが藩士の数が多かったため、農地を与えて自活させたり、専売制を実施して財政を保っていました。下級藩士ながら、町別当という役職を任せられていた小村家の屋敷内には「客屋」があり、他藩から飢肥藩に派遣された使者は、まずここに泊まりました。日本地図を作った伊能忠敬も、小村家に泊まったそうです。小村家は経済面にも明るく、藩外の情報も早く入る、まさに藩の情報収集役的な立場の家でした。

### 寿太郎の家族

大家族の中で、よく寿太郎の面倒をみていた祖母・熊は、義経や弁慶などの話から武士道を語り、武勇だけではなく心に誠が必要、と繰り返し話して聞かせたといいます。寿太郎は武士としての教えを学ぶ一方で、常にそろばんを手元に置き、広い農地を持つ叔父の農作業も手伝うなど、経済も農業も身近に接しながら日々を送っていました。

## アメリカでも一目置かれる存在に

アメリカ人教師も絶賛するほどの英文の自叙伝を、18歳の若さで書き上げた寿太郎。その優秀さから、予科を免除されてハーバード大学の本科に入学した後も、持ち前の勤勉さと礼儀正しきで、現地でも敬意を払われるようになります。寿太郎はハーバード大学図書館の蔵書の数々を次から次へと吸収していきました。その姿は、アメリカの文士が著書に記すほど強く印象に残っていたそうです。

## 苦難の時代

満を持して留学から帰国し、司法省を経て外務省に入省した寿太郎でしたが、外交政策に批判的だったためか翻訳局という閑職に追いやられてしまいます。さらに同時期に父の事業が失敗したことで多額の借金を背負うことに。しかし、それでもめげずに、ひたむきに独自の調査・研究を重ねていた寿太郎の力が後に外交の舞台で日本を救うことになりました。

## 日英同盟の意義

寿太郎の功績として有名なものは、ポーツマス条約の締結と不平等条約の撤廃ですが、

一方で、日英同盟を成し遂げたことこそ、寿太郎の最大の功績ともいわれています。

当時、元老の中には日本は強国ロシアとの交戦を避けるため、ロシアと手を結ぶべきだという意見もありました。しかし、寿太郎はイギリスと同盟を結ぶことによってロシアを抑えこむべきだと主張します。その背景には、寿太郎の情報収集力と類まれなる外交センスがありました。

寿太郎は、「仮にロシアと同盟を結んだとしても、その効果は一時的で経済上の利益も少ない。なによりロシアが領土拡張をやめることはなく、満洲から朝鮮半島を領地化することは明らかで、日本は本国を守るため、戦いに追い込まれる。」と主張しました。一方で、長年孤立を貫いてきたイギリスが日本と同盟を結ぶことなどありえるのかといった疑問を持つ人も多かったといえます。そんななか、寿太郎は国際情勢の変化やイギリスの状況を読み取り、今が同盟締結の好機だと訴え、反対者の理解も得て、見事、日英同盟の締結を成し遂げます。当時世界最大の大国であったイギリスと同盟国となることは名誉であると同時に、多大な利益をもたらしました。日英同盟は議会はもとより、多くの新聞や世論から大いに歓迎され、日英同盟祝賀会が全国各地で開かれました。また、寿太郎はその功績から男爵に叙勲されました。



## ポーツマスでの難交渉

日露戦争終結のためにロシアとの交渉に臨んだ寿太郎でしたが、戦争続行を辞さないロシアは強気な態度を崩さず、あるることか会谈の内容の一部をアメリカの新聞に一方的にもらし、日本の要求を非難しました。これには日本の随行員たちも怒りましたが、寿太郎は、ひたすら誠実な態度をとり続けました。次第に日本を非難したアメリカの世論も静まりましたが、このとき、寿太郎の恩師・グリフィスも親目的な雰囲気をつくりだすべく、寿太郎の人間性を新聞で紹介するなどして、寿太郎を助けました。

## 伝説の一分訓話

ポーツマス条約締結後、県立宮崎中学校（現在の県立大宮高校）で講演を頼まれた寿太郎は、登壇して一言、「諸君は正直であれ、正直ということは何より大切である」とだけ言い終えると、すぐに降壇してしまいました。マンガ冒頭で描かれている「一分訓話」です。戦いが終わり、日本は産業の発達に力を入れる時代となり、これからの日本の将来を担う生徒たちを激励するためにも、「正直」という短い言葉に大切な思いをこめて印象づけたのでしよう。

## 日本の国際化に貢献

ポーツマス条約締結後も、寿太郎は外交に力を尽くします。明治時代最大の外交課題であった不平等条約の改正に取り組み、見事、関税自主権を回復させた寿太郎は、まさに日本を独立国家に導いた稀代の外交官と言えるでしょう。

## 小村 寿太郎 略年譜

年号	年齢	略 歴	国内の動向
1853	-		ペリー提督が開国を求めて浦賀へ来航。 ブチャーチン（露）が長崎へ来航。
1854	-		黒船再来港。日米和親条約（神奈川条約）締結、 日露和親条約締結。
1855	0	9月26日、日南市飫肥本町別当屋敷に生まれる。	
1858	3		日米（英、仏、露、蘭）修好通商条約調印。
1859	4	私塾（稲沢塾）に入塾。	
1861	6	飫肥藩校振徳堂入学。	
1868	13		鳥羽伏見の戦い、五箇条の御誓文。
1869	14	振徳堂卒業。英語を学ぶために長崎留学。	版籍奉還。
1870	15	大学南校（現・東京大学）に貢進生として入学。	
1874	18	英文自叙伝を書く。	
1874	19	海外留学運動。	
1875	20	ハーバード大学本科入学（文部省第1回留学生）。	
1877	22	ハーバード大学法学部卒業、専修科に進む。	西南戦争が起こり、恩師・小倉処平戦没。
1878	23	同大学卒業後、ニューヨークの弁護士事務所での研 修。	
1880	25	米国から帰国（11月）。司法省に就職（12月）。	
1881	26	朝比奈マチと結婚。判事に就任する。	
1884	29	外務権少書記官、公信局勤務。	
1885	30	外務省翻訳局勤務、翻訳局次長心得。	
1886	31	翻訳局次長に就任。	
1888	33	翻訳局長に就任。	
1893	38	清国公使館参事官、清国公使館一等書記官、清国 臨時代理公使に就任。	
1894	39	北京から帰国、外務省政務局長に就任。	日清戦争勃発。
1895	40		遼東半島返還。
1896	41	外務次官（大隈外相）に就任。	
1898	43	米国公使に就任。	
1900	45	露国公使、清国公使に就任。	
1901	46	第1次桂内閣の外務大臣に就任。	
1902	47	日英同盟の成立に関わる。 男爵を授けられ、華族に列せられる。	
1904	49		日露戦争勃発。
1905	50	ポーツマス条約調印。	
1906	51	外務大臣を辞職。枢密顧問官、英国大使となる。	
1907	52	伯爵を授爵。	
1908	53	外務大臣再任、条約改正準備委員長となる。	
1910	55	第2回日露協約調印。	韓国併合。
1911	56	関税自主権の回復のため、日米通商航海条約調印、 日英通商航海条約調印、日独通商航海条約調印、 日仏通商航海条約調印。 侯爵、貴族院議員となる。 外務大臣辞任（在任、通算7年4か月）。 神奈川県葉山にて死去（11月26日）。 外務省葬（12月2日）。	





マンガ宮崎県郷土先覚者シリーズ④ **日本を救った外交官 小村寿太郎**

---

令和4年3月 発行

**発行／宮崎県**

〒880-8501 宮崎県宮崎市橘通東2丁目10番1号  
宮崎県 総合政策部 みやざき文化振興課  
TEL : 0985-26-7099 FAX : 0985-32-0111

**協力／長友禎治（日南市教育委員会生涯学習課文化財専門担当官）**

**日南市小村寿太郎記念館  
小村寿太郎侯東京奉賛会**

**マンガ／太神美香**

**制作／株式会社梓書院**

〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代3丁目2番1号  
TEL : 092-643-7075 FAX : 092-643-7095